

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年2月6日 (2014.2.6)

【公開番号】特開2013-217587(P2013-217587A)
 【公開日】平成25年10月24日 (2013.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報2013-058
 【出願番号】特願2012-88968(P2012-88968)
 【国際特許分類】

F 2 4 H 1/18 (2006.01)

F 2 4 H 1/00 (2006.01)

H 0 1 M 8/00 (2006.01)

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

【F I】

F 2 4 H 1/18 3 0 1 Z

F 2 4 H 1/00 6 3 1 A

F 2 4 H 1/18 G

H 0 1 M 8/00 Z

H 0 1 M 8/04 X

H 0 1 M 8/04 Y

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月16日 (2013.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発電により電力を供給する発電ユニットと、
 前記発電ユニットで発生した熱を蓄える貯湯ユニットと、
 前記発電ユニットの駆動及び停止を制御する制御装置と、
 前記貯湯ユニット内の湯を利用する利用者の在宅を検知する在宅検知器と、
 を備えた発電システムにおいて、

前記制御装置は、

少なくとも前記発電ユニットの駆動が禁止されている禁止時間帯、及び、前記発電ユニットから供給される熱で前記貯湯ユニット内の水の殺菌するために必要な加熱時間を記憶する記憶部を備えており、

前記在宅検知器が利用者の在宅を検知した時点から前記禁止時間帯の開始時までの時間が前記加熱時間以上であるときは、前記発電ユニットを駆動させることで前記貯湯ユニット内の湯を加熱し、

前記在宅検知器が利用者の在宅を検知した時点から前記禁止時間帯の開始時までの時間が前記加熱時間未満であるときは、前記発電ユニットの停止状態を維持させる、
発電システム。

【請求項 2】

前記在宅検知器は、前記貯湯ユニット内の湯が所定時間内に一定量以上使用されたか否かで前記利用者の在宅を検知する、
 請求項 1 記載の発電システム。

【請求項 3】

前記貯湯ユニット内の湯の温度、及び、前記貯湯ユニットの周囲の温度、のうちの少なくとも一方を計測する温度計をさらに備え、

前記制御装置は、前記温度計によって計測された温度に応じて前記加熱時間の長さを変更する、

請求項 1 または 2 に記載の発電システム。

【請求項 4】

前記発電ユニットは、ガスを燃焼することで前記貯湯ユニット内の湯を加熱するボイラーを備え、そのボイラーを用いて前記貯湯ユニット内の湯を加熱する、

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の発電システム。

【請求項 5】

前記発電ユニットは、燃料ガスと酸化剤ガスとを反応させて発電を行う燃料電池であり、

前記燃料電池は、前記燃料ガスと前記酸化剤ガスとを反応させて発電を行う燃料電池スタックを備え、

前記発電で生じた熱、及び、前記発電で生じた電力をヒータに供給することで発生する熱、のうちの少なくとも一方を用いて前記貯湯ユニット内の湯を加熱する、

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の発電システム。